探し物がきっと見つかる

やまがた暮らし

【滞在編】

金山杉の家で山里の暮らしをじっくり体感

秋の訪れを感じるこの季節は長期滞在で田舎探しをするのにおすすめ。宿場町の風情が色濃く残る金山町は、体験施設も金山杉を使った伝統的な木造住宅だ。木の温もりがある家で、山里の暮らしを体感してはいかが。

孫たちにふるさとをつくってあげられました

この日は孫の昊(そら)くん(7歳)と花ちゃん(5歳)が遊びに来ていた。玄関先には冬用の薪が山積みに。

からだに優しい金山杉の「金山住宅」

金山杉の産地として知られる金山町では、1983年から「街並み(景観)づくり100年運動」を推進し、金山杉を使った伝統的な木造建築「金山住宅」の普及・保存活動を続けている。地元の木材や職人の技を活かしながら街並みを形成し、地場産業の活性化、地域振興につなげていくという取り組みだ。現在、町内にある住宅の約37パーセントが金山住宅となっている。

金山住宅は、白壁に切妻屋根、焦げ茶や黒の杉の下見板張りが特徴。重厚な雰囲気の外観もさることながら、金山杉をぜいたくに使った室内は木の温もりにあふれている。19年前に東京から移住した杉井範之さんも金山住宅を建てて住んでおり、「この家で暮らすようになってから風邪をひかなくなった」そう。

「多孔質の木材は湿気を吸着したり、逆に乾燥しているときは排出したりと、木そのものが呼吸しているので、室内が快適に保たれる。ガスが発生する塩化ビニールなどの建材を使っていないのも、からだにいいですね」

家具メーカーで設計や開発を手がけていた杉井さんは、仕事の関係で金山町を訪ねるようになったのが移住の契機に。木材や建築などに関する豊富な知識を活かし、今は金山町森林組合の参事として金山住宅の普及に努めている。施主や設計者、大工とのやりとりが円滑に進むよう手助けするのが主な業務だ。

「私自身が金山住宅を建てたときの経験をもとにコーディネートしています。金山の人たちは心根が優しい。誰にでも気軽に声をかけたりね。金山の人の気質に惹かれたのも移住を決めた理由のひとつです」

妻の澄子さんも思いは同じ。「よそ者の私たちを自然に受け入れてくれました。山菜採りに誘ってくれたり、料理を教え合ったり。普通に暮らすことが幸せなんだと感じることができる地域ですね」

そんな金山の人たちとふれあいながら滞在したい人におすすめなのが金山杉で建てた「金山暮らし体験住宅」である。羽州街道の宿場町として栄えた往時の街並みが残る中心地にあるため、買い物などのアクセスも便利。趣のある金山住宅や蔵が軒を連ね、いたるところに水路が巡る。歩きやすい路地も整備されているため、そぞろ歩きが似合う街だ。山菜採りやそば打ちなど山里の暮らしを伝える体験メニューも充実しているので、木の家の住み心地を楽しみながら、しばし滞在してみてはいかが?

生活用水にも使われていた「大堰」(農業用水路)。ボランティアによる街並み案内もある。

金山杉で建てられた「金山暮らし体験住宅」。水路や池がある公園に面しており、環境は抜群である。

山菜やキノコ採り、そば打ち、メープルサップ(カエデの樹液)採取など金山の体験メニューは盛りだくさん。

料理好きの杉井さん、テラスにお手製の燻製器が設置されていた。釣ってきた魚もここで燻製に。

間仕切りが少ないので、この薪ストーブだけで暖房はOK。杉井さん宅を訪ね、薪ストーブを導入する人も多い。

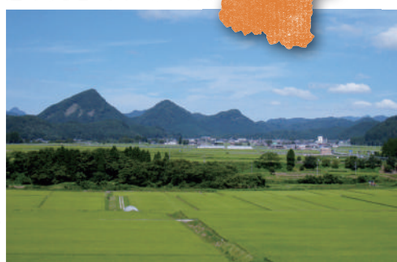
手入れの行き届いたスギの植林地。金山ではスギを80年以上の大径木に育てる山づくりを続けている。

東京都から1996年に移住

杉井範之さん(68歳)・**澄子**さん(67歳)

範之さんは「金山杉住宅をつくる会」事務局長も兼務。澄子さんは最近まで新庄市の福祉施設で働いていた。

アクセス
山形新幹線新庄駅から山交バス金山行きで約30分。山形自動車道山形北ICから国道13号を経由して1時間40分。



山形県の北東部に位置する金山町は豪雪地帯でもある。人口6034人(2015年6月現在)。

金山町TOPICS

体験住宅にゆっくり滞在
地場産材の住宅建築に補助も

「金山暮らし体験住宅」の利用料金は1人1泊1500円、2人目からは1人1泊500円。利用期間は3泊4日から1カ月まで。移住希望者には役場の担当者が、適した地域や空き家を紹介している。金山住宅で家を新築する場合は最大で80万円を助成。リフォーム助成などもある。

ユニークな地元の達人たちを紹介します!

総務課の神沼幸希さん(31歳)。「体験住宅に滞在し、ゆっくりと街を歩いてみてください」。
問金山町総務課
☎0233-52-2111

ほかにもある! お試し移住を応援!

山形県内の移住体験施設

遊佐町 お試し体験住宅

鳥海山の麓、日本海に面した遊佐町は湧水が豊富な地域。体験住宅は、海辺に近い「布倉住宅」と内陸部の「広野住宅」の2軒がある。利用期間は1〜90日。料金は1棟1日1000円。
問遊佐町企画課 ☎0234-28-8257

長井市 移住体験ハウス

朝日連峰や飯豊連峰に囲まれた長井市。体験ハウスからは雄大な景色が眺望できる。利用期間は1泊2日〜7泊8日。料金は無料だが、移住に関するアンケートなどを提出。
問長井市地域づくり推進課 ☎0238-87-0817

毎月開催! 山形の今がわかる連続セミナー

やまがたハッピーライフカフェ

第5回
便利な田舎
村山地域の魅力発信
9月6日(日)
17:00〜19:00

山形県が都内で開催する年10回の山形暮らしセミナー。5回目は村山地域からの発信。ゲストは山形市内の大学に進学して移住・起業した20代のゲームクリエーター。起業に関する相談会も開催。特産品のサービスも。

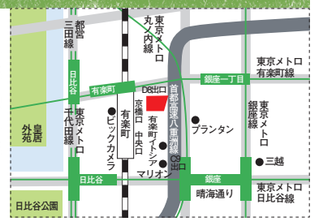
今後の開催予定:10月18日(日)、11月14日(土)

セミナー会場&山形暮らしに関するお問い合わせは…

やまがたハッピーライフ情報センター

場所:東京都千代田区有楽町2-10-1
アクセス:JR有楽町駅隣、東京交通会館5階
(認定NPO法人 ふるさと回帰支援センター内)
JR有楽町駅・有楽町線有楽町駅地下直結D8出口

☎03-6269-9533
FAX03-6269-9534
e-mail:yamagata-iju@royal.ocn.ne.jp
受け付け時間:
火曜〜金曜12:00〜18:00、土曜・日曜10:00〜18:00



ご相談はこちらにもどうぞ!
すまいる山形暮らし案内所
(山形県市町村課内)
〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1
☎023-630-3083
FAX023-630-2130
e-mail:yshichoson@pref.yamagata.jp
山形暮らし 検索
http://www.pref.yamagata.jp/ylife/